

科目名	医療福祉論（社会福祉士必修）		
授業形態	講義	学年	2
開講時期	2023年度 前期	単位数	2
担当教員	西田 純子		
内容および計画	医療環境の歴史的推移を踏まえ、現在の医療環境を理解し医療福祉の理念を学ぶ。また、国民医療費の状況や医療保険制度、診療報酬制度に関する基本的な事項、チーム医療を実現するために必要な各専門職の役割と機能の理解を行う。さらに様々な事例を通し、あらゆる疾患から派生する課題を医療ソーシャルワーカーの業務実践から理解し、医療・福祉専門職との連携や協議のあり方について学ぶことを目的としている。		
1	ガイダンス 病気になって困ることを心理的・社会的・経済的視点から整理する		
2	医療施設の機能と種類		
3	医療機能分化と医療機関が置かれている現状		
4	専門職の役割と実際		
5	医師の役割とインフォームド・コンセントの意義と実際		
6	医療ソーシャルワーカーの役割と業務指針の理解		
7	医療ソーシャルワーカーの業務（1） 医療ソーシャルワーカーの歴史と業務の枠組み		
8	医療ソーシャルワーカーの業務（2） 経済的援助、心理的・社会的援助、受診・受療援助の実際		
9	医療ソーシャルワーカーの業務（3） 退院援助、社会復帰援助の実際		
10	医療保険制度、高額療養費制度の仕組み		
11	診療報酬制度の理解		
12	チーム医療の実践（1） 院内他職種との連携・協働		
13	チーム医療の実践（2） 他機関、他団体との連携・協働		
14	医療ソーシャルワーカーの実践事例から学ぶ（1）		
15	医療ソーシャルワーカーの実践事例から学ぶ（2）		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
授業で用いる資料は教員がプリントして配布する			
参考書	『保健医療ソーシャルワークの基礎－実践力の構築』公益社団法人日本医療社会事業協会編 相川書房 2017年 第2版		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	授業中の発言・毎授業時に提出する小レポートの内容	40	
	最終レポートの内容	60	

授業への積極的、意欲的な参加を求める。	
<b>学習到達目標</b>	①医療機関の機能や役割を理解し、説明することができる。 ②医療福祉に関する基本的な構造と諸制度を理解し、説明することができる。 ③医療ソーシャルワーカーの業務について説明することができる。 ④医療保険制度、診療報酬制度などの諸制度を理解し、説明することができる。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	実務経験あり：医療機関において、22年間医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）として、ソーシャルワーク実践の実務経験がある。 また、部門の管理者として医療ソーシャルワーカーの育成、実習指導等を行ってきた。 この経験をもとに、医療機関におけるソーシャルワーク実践の意義、患者・家族に対する援助方法等について教授する。
<b>その他</b>	病気や怪我は自分自身にも身近な家族にも、誰にでも起こりうるものである。日頃から医療関連のニュースや記事に関心を持って臨んでいただきたい。